

かなざきひさの町政報告

(金崎ひさ)

H 14. 11. 21

カット 三留正子

かなざきひさを応援する会・会報 19号 発行責任者 伏見 小枝

葉山町議会第3回定例会が開催されました。 期日平成14年9月18日～10月23日

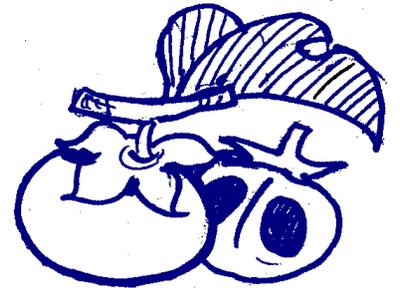
○平成13年度決算の審査が行われ、認定されました。

平成13年度	予算額	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
一般会計	約 98億2500万	約 93億2600万	約 85億8500万	約 7億4100万
国民健康保険特別会計	約 21億2000万	約 21億4300万	約 20億4000万	約 1億200万
老人保険医療特別会計	約 28億3400万	約 26億9200万	約 26億7600万	約 1600万
介護保険特別会計	約 14億5000万	約 13億3700万	約 12億7400万	約 6300万
下水道事業特別会計	約 21億2600万	約 21億900万	約 20億3000万	約 7800万
合計	約 183億5500万	約 176億700万	約 166億500万	約 10億

○かなざきひさの一般質問

(1) コミュニティバス調査研究事業について

来年度の事業内容を明確にする為、前回に引き続き一般質問に取り上げました。



質問と提案	理事者側の答弁
前回提案した実証実験について。	調査の結果、国庫補助を得る為には厳密な計画が必要であり、現状では無理である。 (福祉環境部長)
今後の方針は。	今年度中に愛川町を視察し、成果を検証の上、更に検討を重ねる。 (町長)
乗車料金を取っての試験運行をするべきでは。	方向性を見出す為にも、是非必要な実験と考えている。 (町長)
試験運行のルートと料金を設定する為の検討委員会に町民参加を。	当然、地域の関係者の参画をお願いする。 (町長)
かなざきひさの考え 乗車料金を取って試験運行を行わない限り、この事業の終着点はないと思います。来年度の試験運行は明言されませんでした。町長の任期中に試験運行を行い、町民のニーズを把握した上で、是非、方向性を見出して欲しいと提言しました。	

(2) 重度障害者タクシー券交付事業について



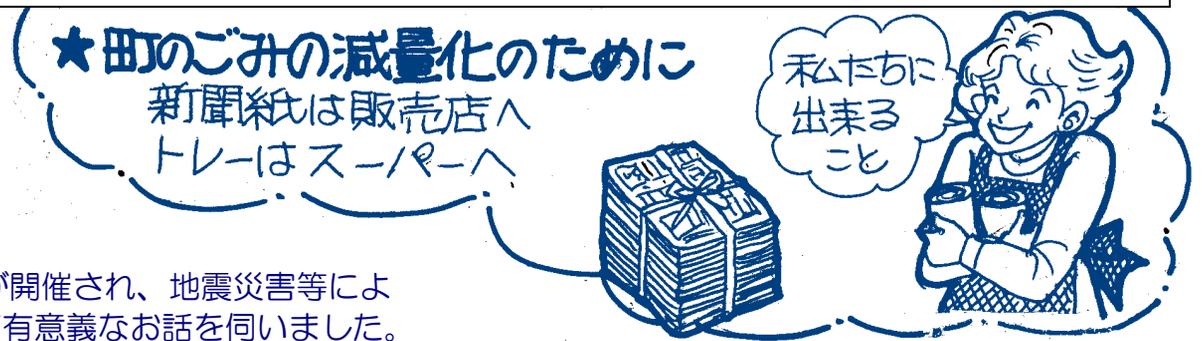
例年、予算額に比べ決算額があまりにも少ない事業です。それは、真剣に必要としている人が対象枠からはずれていること、が原因です。充実した事業にする為には、対象枠の拡大が是非とも必要だと思えます。

質問と提案	理事者側の答弁
他の自治体でのタクシー券補助の状況は。	県外の数自治体で、重度にとらわれず、障害別に補助しているところがある。 (福祉環境部長)
身体障害者手帳3級の保有者数は。	95名。 (福祉環境部長)
95名の内、肢体不自由は。	61名。 (福祉環境部長)
来年度は予算額を減らさず、61名を加えられるのでは。	数字上では可能。総合的に考えたい。 (町長)
かなざきひさの考え この事業を町長は「重要な施策のひとつと考えている」と明言しました。本当に必要なところに、必要な措置を行う為にも、来年度は少なくとも3級の肢体不自由の方々に対象枠が広がることを確信しています。	

(3) ごみ資源化・減量化事業について

4月からミックスペーパーの収集が始まりましたが、収集量が思わしくありません。せっかくの資源ごみの分別の努力を無駄にしない為には、収集方法に問題があると考えております。その件について質問しました。

質問と提案	理事者側の答弁
ミックスペーパーの収集量は。	4月～8月までで38トン。(福祉環境部長)
年間ごみ量は13,000トンで1%にもならない。その原因は。	消却ごみの中に混在してしまう可能性もある。(福祉環境部長)
可燃系ごみと一緒に収集よりも、ペットボトルと同じ日に収集すべきではないか。	予算措置も含めて、協力の得やすい方法を模索する。(福祉環境部長)
ミックスペーパー収集の委託料は回収量か収集回数か。	回収量ではない。(福祉環境部長)
家庭では分別の為に大変な努力をしている。その分別された物を町は無駄なく資源化させる義務があるのでは。	資源ごみ収集の日を設けるのが良いと思うが、混乱を避ける為、一定期間おいた方が良い。(福祉環境部長)
<p>かなざきひさの考え ごみの資源化・減量化はみんなで取り組まなければならない大きな社会問題です。町としては資源ごみ収集の日を設けるのがベストであると考えているようですが、ごみ出し方法が少しずつ何度も変化しているのでは、町民が混乱するのではないかと躊躇しているようです。私は一日も早く資源ごみ収集の日を設定することが必要だ、と考えておりますが、町民の皆様方のご意見をお聞かせ下さい。</p>	



(3) 防災について

9月1日に葉山町防災講演会が開催され、地震災害等による避難所生活の心得などについて有意義なお話を伺いました。

質問と提案	理事者側の答弁
町内避難場所の数は。	24ヶ所。長期滞在避難場所は7ヶ所。(町長)
地震災害等に備え、保育園・児童館・小中学校において、園児・児童・生徒対象に宿泊訓練を。	現場と親と意見を交換しながら検討する。(町長) 良いことなので、学校に伝える。(教育長)
地震災害対策計画・避難場所等の町民への周知は。	広報及び防災訓練などを通じてPRしたい。(消防長)
弱者対策として、災害ボランティアコーディネーターの育成を。	現在小人数であるので、今後増やすことに努力する。(消防長)
<p>かなざきひさの考え 災害時においては、誰もが一過性の障害者になりうる可能性があります。故に弱者対策を充実させることが、災害マニュアルの基本です。平時に余裕のある状態で宿泊訓練を行っておくのが、本人・職員にとって役に立つ良い体験となるでしょう。横須賀市では市民対象に一泊二日の宿泊訓練を行っています。</p>	

葉山町の避難場所 一時避難場所（囲みは長期滞在避難場所）



- ・木古庭会館・木古庭公園・**上山口小学校**・杉山神社・上山口会館・神明社・氏子会館
- ・下山口会館・森山神社・玉蔵院・**一色小学校**・一色岡会館・堀内会館・光徳寺
- ・**葉山小学校**・**葉山中学校**・**長柄小学校**・長柄会館・御霊神社・葉桜児童館
- ・イトーピア中央公園・**南郷中学校**・**南郷上ノ山公園**・県立逗葉高校

私事で申し訳ないのですが、先月25日、長男が他界しました。葉山中学校3年生、15才でした。口も聞けず、車イス生活の子供でしたので、多くの方々にお世話になることばかりでした。でも、その息子が、同級生はもちろん沢山の方々と奥深く結びついていたことを知りました。どのような障害児でもその子なりの生命を持ち、伸びてゆく芽を持ち、何らかの役割を持っていると思います。言葉に乏しい彼らは、いつも五感六感をめいっぱい開き、働かせて、外とつながっています。五感六感で、ということは誰と、どこでもコミュニケーションができるということです。ただ、そこに（相手に）優しさと心があるならば――。健常者の私達はとかく言葉や外見に頼りがちです。世の中にはいろいろな人がいて、いろいろな生き方があり、それをお互いが分かり合えばいいことなのではないでしょうか。自分が元気で幸せな時は、なかなか、辛さ、苦しさ、大変さが分かりません。かなざきひさは、常に弱者の立場を思いやれる人です。その心を行政に反映させてもらいましょう。

かなざきひさを応援する会 会長 伏見小枝

ご意見、ご要望など、是非、お聞かせ下さい。次回定例会は12月3日からです。傍聴して下さい。

発行者 かなざきひさを応援する会 会長 伏見小枝	発行所「事務局」〒240-0115 上山口1878-9
TEL&FAX 78-7961	携帯 090-407-62425 E-Mail kanazakihi@aol.com